

○あいサポート運動とは？

「あいサポート」とは、「愛情」の「愛」、「私」の「私」に共通する「あい」と、応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障害のある人を優しく支え、自分の意志で行動する（ちょっとした手助けをする）ことを意味しています。（岡山県HPより）

岡山県では、障害者差別解消法の趣旨を踏まえ、あいサポート運動も活用しながら、誰もが安全で快適に生活できるバリアフリー社会の実現を目指しています。右の冊子では、様々な障害のある方が困っていること、それを補う工夫や配慮について紹介しています。この冊子は、岡山県保健福祉部障害福祉課で配布しています。また、本校の保護者控え室にも置いてありますのでご覧ください。



○地域との連携

各地域の自立支援協議会と連携を図りながら、児童生徒の支援を推進しています。

【岡山市自立支援協議会・教育部会】

岡山市自立支援協議会・教育部会では教育・福祉・行政が連携して、就学前から卒業後まで切れ目のない支援を目指し①～⑤の行事を計画し取り組んでいます。

	会の名称	対象	内容	時期
①	福祉制度説明会	高1生徒・保護者・教職員	福祉制度の説明、手続き等の流れなど	8月末
②	地区別懇談会	高2生徒・保護者・教職員	相談支援専門員・事業所の紹介	7月下旬～
③	卒業時移行支援会議	高3生徒・保護者、施設職員担任、移行支援会議担当者	卒業時の移行支援計画・手続きの確認	1月下旬～
④	障害福祉サービス等に関する職員研修会	教職員（希望者）	障害福祉サービス等に関する説明	7月下旬
⑤	生活介護事業所説明会	中・高の保護者、教職員	生活介護事業所の紹介	7月下旬～

さらに今年度は、就学前に利用していた福祉サービス等の事業所から小学校・特別支援学校への引き継ぎの取組を行うなど早い段階から教育と福祉の連携強化を図っています。また、就学している児童生徒・保護者には、放課後デイ等の福祉サービスの上手な利用・活用方法の周知を取り組む予定にしています。福祉制度説明会は、本校の教職員も多数参加する予定で、対象者だけでなく広く情報を共有できるように取り組んでいく予定です。

【瀬戸内市地域自立支援協議会・子ども部会】

例年、自立支援協議会の各部長（地域生活支援部会、子ども部会、就労支援部会）と市長とで「市長報告会」が開かれています。その中で市長から「市内の事業所が増えてきて市の予算が膨らんできているが、しっかり療育を受けてもらいたい。」と前向きなコメントがあったと報告されました。しかし、肢体不自由の重度重複心身障害児が使えるサービスは現在瀬戸内市内にはありません。子ども部会として「考えてほしい。」と申し入れています。

【高梁市自立支援協議会・児童部会】

児童部会では、今年度も「スクラム作戦」の強化・進展を重点課題として取り組むことを再確認しました。スクラム作戦とは、保護者・保健師・所属園校の先生・福祉事業者などの本人を取り巻く支援者がスクラムを組んで連携支援することです。特に、連携強化という点から福祉事業者が、高梁市居住の児童生徒が通う市内の小・中・高等学校及び県立の特別支援学校に訪問し、それぞれの立場や役割を話し合っって横の系と縦の系をしっかりと紡ぎ、切れ目のない継続した支援体制を構築していく計画です。

○図書紹介

～MaBeee で電池に魔法をかけよう！～

MaBeee（右写真）本体は単3電池サイズですが、中に市販の単4電池を入れてご使用いただくものです。MaBeee を乾電池と同じようにおもちゃなどにセットしてスマートフォンにつなぐと、スマートフォンでコントロールできるようになります。

スマートフォンを振る、傾ける、声を出すなどのアクションに応じて、電車のおもちゃを速く走らせたり、ぬいぐるみや工作ロボットを動かしたり、タイマー機能で歯みがきの時間を知らせたり、といった操作が可能となります。

ジャムハウス編集者発行 ￥1,620



次回のスクールカウンセラーの佐田先生の来校日は、9月28日（金）、13:00～17:00です。お問い合わせは、副校長、または各部教頭まで。学校のこと、お子さまのこと、家庭のこと、何でも気軽にご相談ください。

